

広島市の土砂災害における 警察の災害警備活動

警察庁

広島市の土砂災害における災害警備活動

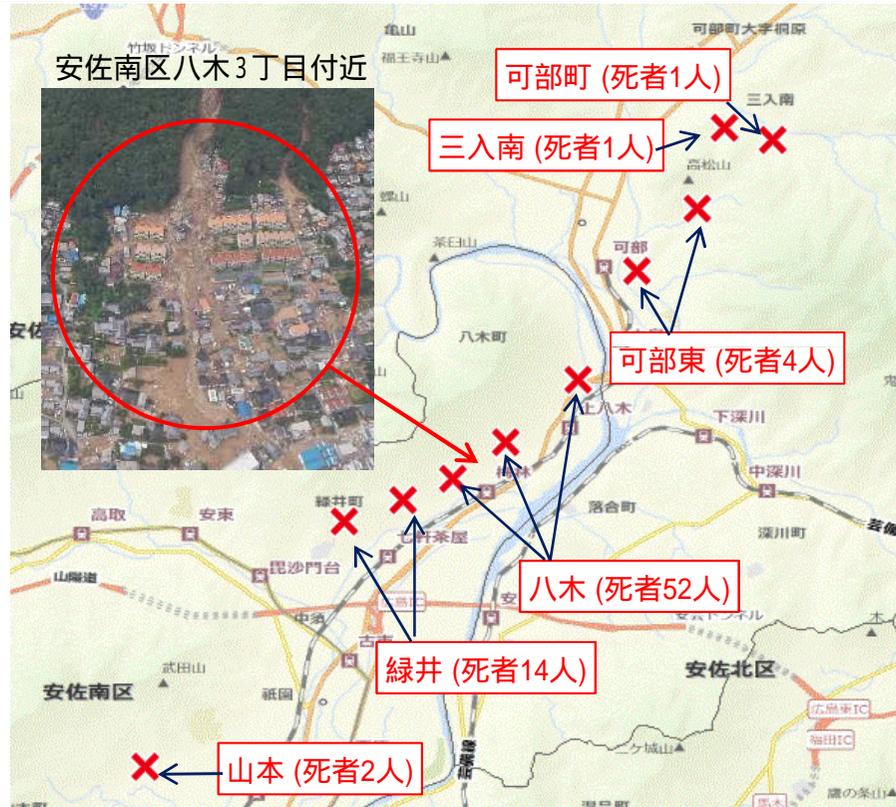
広島県警察では、19都府県警察から警察災害派遣隊の派遣を受け、被害情報の収集、救出救助や行方不明者の捜索、交通規制、検視や身元確認、防犯パトロール等を実施。警察ヘリや重機、警察犬等も活用し、住民を多数救出。現地指揮所において、消防、自衛隊、国土交通省等と緊密な連携を図りつつ、捜索要領等について調整。警察庁では、関係省庁等と連携しつつ、関係管区や府県警察との調整に従事。



警察ヘリを活用した救助活動



警察犬を活用した捜索活動



警察重機を活用した捜索活動



現地指揮所での調整活動

【警察の活動体制】

最大時約 1,700人 / 日 (広島県警察 約 1,000人、警察災害派遣隊 約 700人)

【人的被害】

死者 74人
行方不明者 0人

行方不明者の把握と安否確認活動等

1 活動概要

広島県警察では、発災後直ちに被災現場に急行。救出救助活動とともに、被災状況の把握や付近住民への安否確認等を行い、行方不明者に関する情報収集活動を実施。

また、行方不明者の関連情報を確認するため、安否確認隊を編成して、避難所、病院等を訪問し、関係者の所在確認を行うとともに、地元自治会、関係事業者等からも情報を収集。

併せて、110番等に寄せられた情報の確認を実施。8月25日以降は、行方不明者相談ダイヤルを設置し、行方不明者情報を受理。寄せられた情報について確認を実施。

被害情報の把握・集約を行う自治体との間で、県警が収集した上記情報を共有。関係機関間で集約した情報を基に、市職員らと協力して被災世帯の巡回、電話連絡等を実施。

最終的に約1,000世帯、約2,000人の安否を確認。



被災家屋の搜索活動



避難所の訪問活動



被災地の警戒活動

行方不明者の公表等

自治体を始めとする関係機関と上記情報の共有、摺り合わせを行った結果、発災翌日の8月21日時点で、依然として安否確認が必要な方51人を把握。

その後、引き続き、救出救助活動や収容された御遺体の身元確認、行方不明者に関する更なる安否確認活動等を実施。

その結果、8月25日に広島市災害対策本部が行方不明者28人の氏名等を公表。

総括

発災当日、大雨による大量の土砂、岩石等により、多数の家屋が倒壊・流出し、多数の避難者が発生。二次災害の危険もある中、救出救助活動に加え、行方不明者の把握・所在確認等を併せて推進。

被害情報の把握・集約を行う自治体と密接に連携。被害状況の把握に努め、早期に行方不明者の特定に至った結果、的確な部隊投入により、救出救助活動等の各種応急対策活動を適切に推進。



被災地の訪問活動